

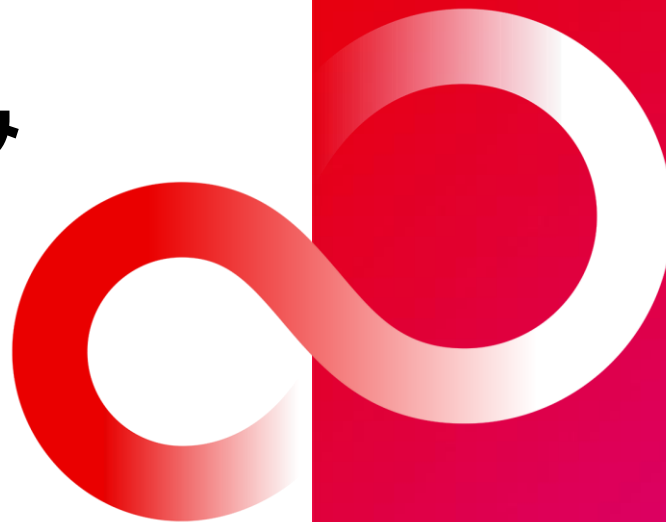
富士通の パーパス実現に向けた取り組み

2024年7月2日

富士通株式会社

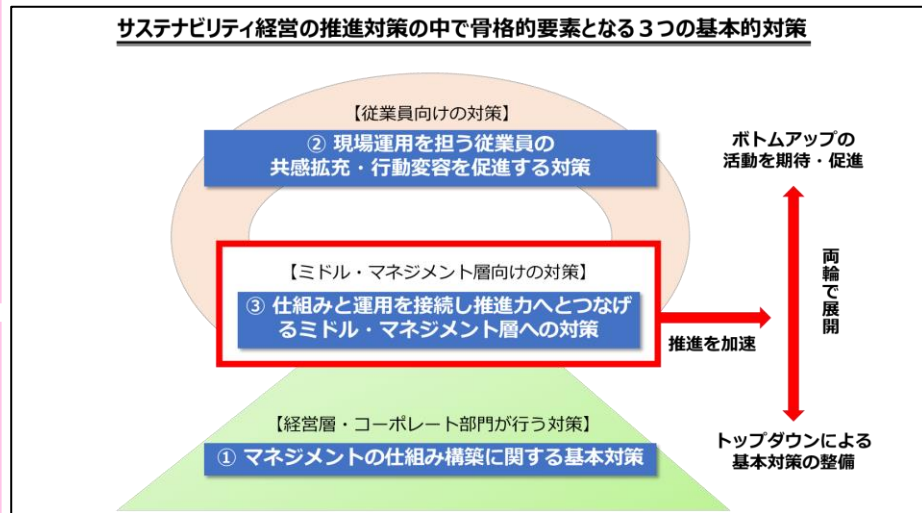
CEO室 Sustainability Division

遠藤 早苗



- ◆ 会社概要
- ◆ パーパス
- ◆ Fujitsu Way
- ◆ 全体の位置づけとビジョン
- ◆ 富士通のマテリアリティ
- ◆ Fujitsu UvanceとKey Technologies

- ◆ ESG経営に向けたガバナンス体制 (①)
- ◆ Fujitsu Wayの推進内容・情報展開 (①②③)
- ◆ サステナビリティ貢献賞 (②③)
- ◆ マテリアリティ動画 (②)
- ◆ まとめと今後の展望



参照元：CSR研究会（2023年度）の概要報告

当社のサステナビリティの概要

設立

1935年6月

代表取締役社長
CEO

時田隆仁

事業内容

サービスソリューション
ハードウェアソリューション
ユビキタスソリューション
デバイスソリューション

従業員

124,000人
(グローバル)

売上収益

3兆7560億円

研究開発費

1,233億円

注：2023年度連結概要（2024年3月31日終了会計年度）

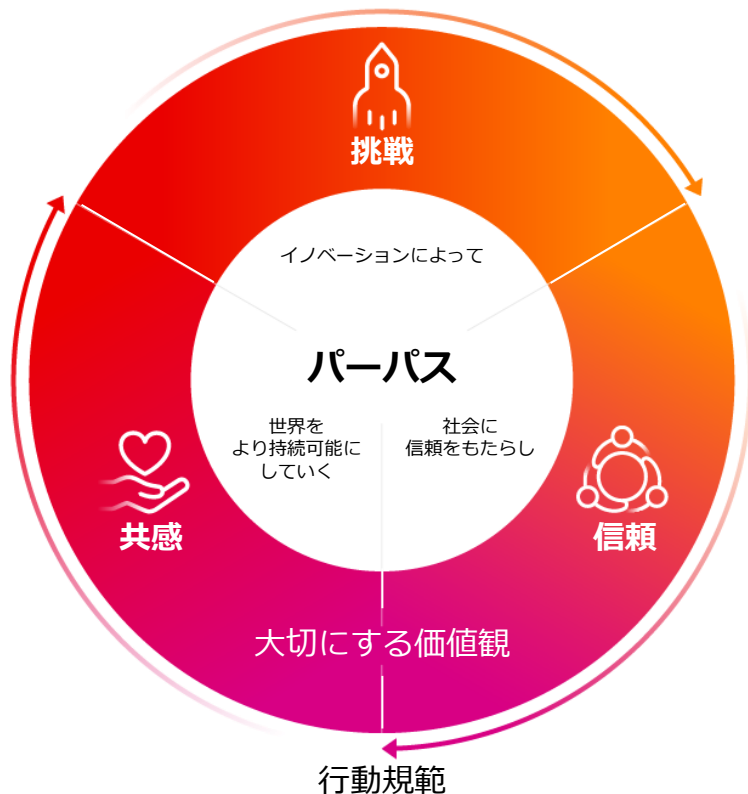
従業員数：2024年3月末現在

4

詳細は、富士通統合レポート2023をぜひご覧ください
<https://activate.fujitsu/ja/about/integrated-report>

Our Purpose

わたしたちのパーパスは、
イノベーションによって社会に
信頼をもたらし、世界をより
持続可能にしていくことです。



パーパス

わたしたちのパーパスは、
イノベーションによって社会に信頼をもたらし、
世界をより持続可能にしていくことです。

挑戦

- 志高くターゲットを設定し、スピード感をもって取り組みます
- 多様性を受け入れ、斬新なアイデアを生み出します
- 好奇心を持ち、失敗や経験から学びます
- ヒューマンセントリックなイノベーションにより、より良いインパクトをもたらします

信頼

- 約束を守り、期待を超える成果を出します
- 倫理感と透明性を持って誠実に行動します
- 自律的に働き、共通のゴールに向けて協力します
- テクノロジーを活用し、信頼ある社会づくりに貢献します

共感

- お客様の成功と持続的な成長を追求します
- すべての人々に耳を傾け、地球のことを考えて行動します
- グローバルな課題を解決するために協働します
- 社員、お客様、パートナー、コミュニティ、株主に共通価値を創造します

大切にしている価値観

行動規範

- 人権を尊重します
- 公正な商取引を行います
- 機密を保持します
- 法令を遵守します
- 知的財産を守り尊重します
- 業務上の立場を私的に利用しません

全体の位置づけとビジョン

パーパスとマテリアリティに基づき、2030年の価値創造ストーリーと2025年までの中期経営計画を策定。

お客様

株主

社員

パートナー

社会

次世代の人々

価値提供

パーパス

Fujitsu Way

ビジョン

価値創造モデル&
マテリアリティ

重点戦略
事業セグメント毎の計画

イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくこと

挑戦

信頼

共感

デジタルサービスによってネットポジティブを実現するテクノロジーカンパニーになる

・地球環境問題の解決 ・デジタル社会の発展 ・人々のウェルビーイングの向上

・事業モデル・ポートフォリオ戦略
・カスタマサクセス戦略/地域戦略

・テクノロジー戦略
・人材戦略

Why

我々の存在意義

What

何を為すのか

How

どうやって
為すのか

富士通のマテリアリティ：コンセプト

パーパス

イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくこと

Fujitsu Way

大切にする価値観

挑戦

信頼

共感

マテリアリティ



富士通のマテリアリティ項目

● 必要不可欠な貢献分野 (11項目)

地球環境問題の解決 Planet

人と自然が共存・共栄し、
地球の未来を共に創る

気候変動（カーボンニュートラル）

資源循環（サーキュラーエコミー）

自然共生（生物多様性の保全）

デジタル社会の発展 Prosperity

世界の繁栄と安定が両立する、
信頼性のあるデジタル社会を共に創る

情報セキュリティ確保

デジタル格差の解消

情報・AI倫理の推進

働きやすい環境の推進と労働力不足解消

責任あるサプライチェーンの推進

人々のウェルビーイングの向上 People

あらゆる人々のウェルビーイングに向けた、
ヒューマンセントリックな生活基盤を構築する

QoL（生活の質）向上に向けた
医療ヘルスケアの推進

生涯教育・リスキングの推進

顧客・生活者体験の向上

● 持続的な発展を可能にする土台 (7項目)

テクノロジー Technology

最先端デジタル技術を創出し、持続可能な
社会システムに変革していく機会を共創する

最先端技術の開発および
イノベーションの創出

経営基盤 Management foundation

ビジネス環境に柔軟に対応し、高効率・迅速な
意思決定を図るデータドリブン経営を行う

ガバナンス・コンプライアンス

リスクマネジメント

経済安全保障対応

デジタルトランスフォーメーション（DX）

人材 Human capital

社内外の多才な人材が俊敏に集い、
社会の至るところでイノベーションを創出する

DE&I

ウェルビーイング・人材育成

ご参考：富士通のマテリアリティ
<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/materi-ality/>

Fujitsu UvanceとKey Technologies

Fujitsu Uvance

社会課題を起点として、クロスインダストリーでお客様の成長に貢献するデジタルサービスを提供

サステナブルな世界を実現する7 Key Focus Areas



Sustainable Manufacturing



Consumer Experience



Healthy Living



Trusted Society

Vertical Areas

社会課題を解決する
クロスインダストリーの4分野

Horizontal Areas

クロスインダストリーを支える
3つのテクノロジー基盤



Digital Shifts



Business Applications



Hybrid IT

Key Technologies



Computing



Network



AI



Data & Security



Converging Technologies

当社内の共感の輪を広げる取り組み

サステナビリティ経営委員会

サステナビリティに関する方針・活動等の報告・審議、決定

委員会の概要

- 2020年4月に設置し、代表取締役社長が委員長、代表取締役副社長が副委員長を務める。
- 委員会は、Fujitsu Wayのパーパスや価値観に基づき、非財務分野の取り組みを強化し、グループの**企業価値を持続的かつ長期的に向上させることを目指している**。
- 委員会は半期に一度開催され、**非財務分野の活動進捗や目標達成状況を確認・討議**し、経営会議と取締役会に報告する。
- 2030年に向けて、**テクノロジーとイノベーションによる社会全体へのプラスのインパクト**を目指し、非財務指標やマテリアリティに基づいた活動について議論を行っている。

取締役会

経営会議

サステナビリティ経営委員会

委員長 : 社長
副委員長 : 副社長
委員 : コーポレート、事業部門役員（15名*）
事務局長 : CSSO**

*オブザーバー18名

**CSSO: Chief Sustainability & Supply Chain Officer

事業部門・リージョン、コーポレート部門

マテリアリティ動画②コンテンツ

② 現場運用を担う従業員の
共感拡充・行動変容を促進する対策

FUJITSU

- ・ 2024年3月末にマテリアリティの理解醸成、行動促進の動画（5分×3本）をリリース
- ・ イントラ、社内報、メルマガ、社内教育メディア等で周知
- ・ 閲覧数計15,000PV以上、アンケート回答2000件以上（2024年6月現在）

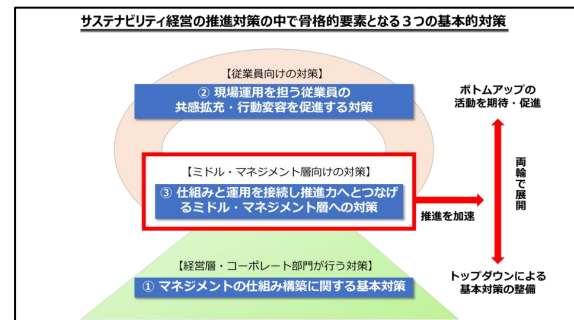
マテリアリティ

動画「富士通のマテリアリティ、これだけは知っておこう！」（5分×3本）



工夫ポイント

- ✓ トップダウン+ボトムアップ双方の①②③すべての施策が必要
- ✓ 社内浸透⇒共感の輪を広げる
- ✓ 「サーベイ疲れ」を打破するため、イベントや社内SNS、動画をきっかけとして、双方向のコミュニケーションを図る



今後の展望

- ◆ 理解、共感⇒行動変容（ビジネスへの実践）フェーズとして、Fujitsu Uvanceを中心とした事業拡大へのブリッジ役を担う
- ◆ データドリブン経営へのチャレンジ
- ◆ 社員の自律的な活動を促す仕組みづくりのさらなる工夫

ご参考：詳細は、「富士通 サステナビリティ」で検索
<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/>

ご清聴
ありがとうございました

